

## 起終点駅 ターミナル (2015)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 112分

初公開日 2015/11/07

公開情報 東映

映倫 G

## 【キャッチコピー】

かれが、たどりついた「終着駅」  
 あすは、かれらを未来へ運ぶ「始発駅」  
 ここは、時刻表のない…駅

## 【解説】

直木賞作家・桜木紫乃の同名短編を「陽はまた昇る」「愛を積むひと」の佐藤浩市主演で映画化した人生ドラマ。過去の悲劇を自らの罪として背負い続けて孤独に生きる男が、一人の若い女性との交流を通じて自らの人生と再び向き合っていくさまを描く。共演は本田翼、中村獅童、尾野真千子。監督は「山桜」「小川の辺」の篠原哲雄。

かつて北海道の旭川で裁判官として働いていた鶯田完治。法廷で学生時代の恋人・結城冴子と思わぬ再会を果たし、東京に妻子がいるにもかかわらず逢瀬を重ねるようになる。やがて悲劇が訪れ、完治は家族を捨て最果ての駅へと降り立つ。25年後、弁護士となっていた完治は釧路の街で国選弁護人の仕事だけを引き受け、息を潜めるように暮らしていた。ある日彼は、覚醒剤所持で逮捕された椎名敦子という若い女性の弁護を担当した。やがて、反省の見られなかった彼女の態度の裏には意外な秘密が隠されていること知る完治だったが…。

## 【クレジット】

監督

篠原哲雄 Tetsuo Shinohara

製作

木下直哉

遠藤茂行

久保雅一

間宮登良松

三宅容介

企画

小滝祥平

大村信

米山久

藤本俊介

嘉手苅理沙

エグゼクティブプロデューサー

樋泉実

村田正敏

山中孝市

種村浩人

河越誠剛

プロデューサー

柳迫成彦

男全修二		
加藤悦弘		
備前島幹人		
芳賀正光		
<b>原作</b>	<b>桜木紫乃</b>	『起終点駅 ターミナル』（小学館刊）
<b>脚本</b>	<b>長谷川康夫</b>	
<b>撮影</b>	<b>喜久村徳章</b>	
<b>美術</b>	<b>金田克美</b>	
	<b>中山慎</b>	
<b>編集</b>	<b>阿部瓦英</b>	
<b>音楽</b>	<b>小林武史</b>	
<b>主題歌</b>	<b>My Little Lover</b>	『ターミナル』
<b>照明</b>	<b>長田達也</b>	
<b>録音</b>	<b>尾崎聰</b>	
<b>装飾</b>	<b>松田光畠</b>	
<b>VFXスーパーバイザー</b>	<b>浅野秀二</b>	
<b>衣裳デザイン</b>	<b>黒澤和子</b>	Kzuko Kurosawa
<b>メイク</b>	<b>根本佳枝</b>	
<b>スクリプター</b>	<b>柳沼由加里</b>	
<b>スチール</b>	<b>前田昭二</b>	
<b>タイトルデザイン</b>	<b>赤松陽構造</b>	
<b>助監督</b>	<b>山田敏久</b>	
<b>出演</b>	<b>佐藤浩市</b>	鷺田完治
	<b>本田翼</b>	椎名敦子
	<b>和田正人</b>	森山卓士
	<b>音尾琢真</b>	大村真一
	<b>君嶋麻耶</b>	
	<b>山田悠介</b>	
	<b>橋爪淳</b>	
	<b>岸博之</b>	
	<b>池田道枝</b>	
	<b>中村獅童</b>	Shidou Nakamura 大下一龍
	<b>泉谷しげる</b>	南達三
	<b>尾野真千子</b>	結城冴子